

経営比較分析表（令和5年度決算）

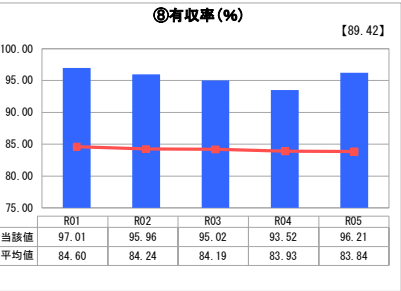
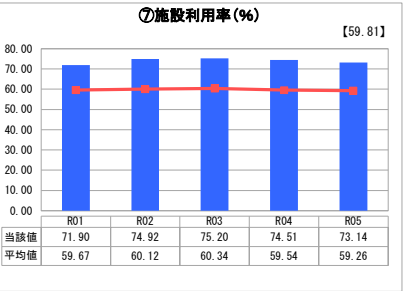
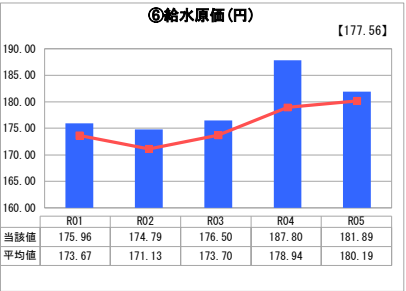
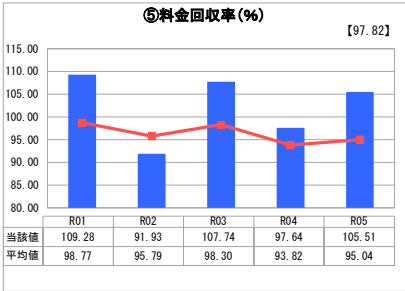
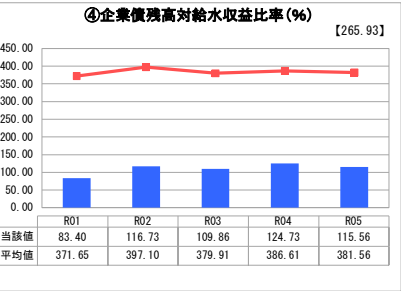
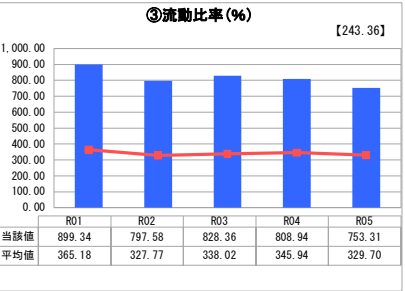
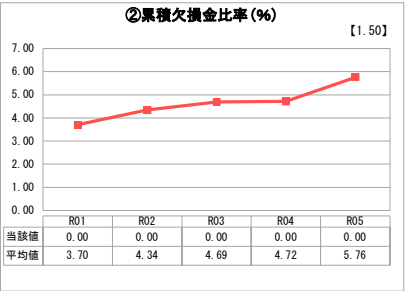
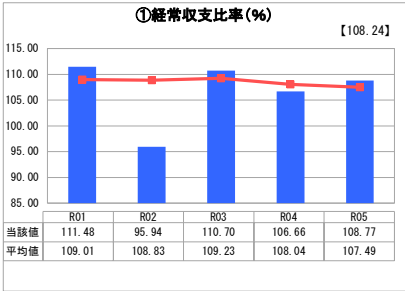
埼玉県 伊奈町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	88.05	99.80	2,970	

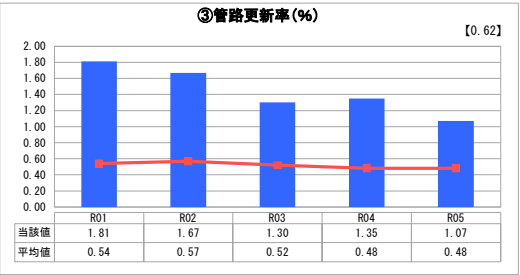
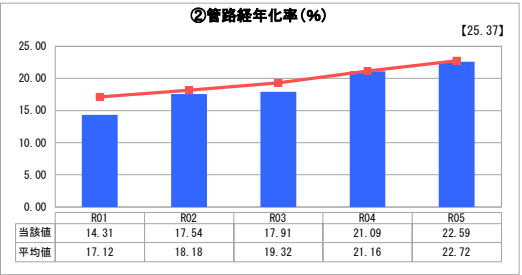
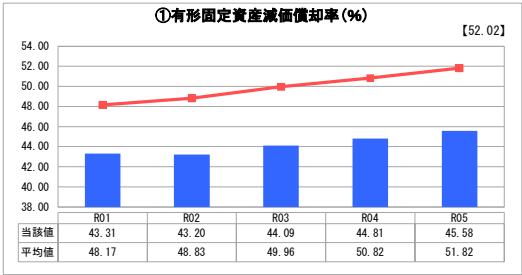
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
45,045	14.79	3,045.64
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
44,953	14.79	3,039.42

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
前年度比2.11%ポイント増となっており、指標は100%を上回り黒字を示している。類似団体平均を超えているが、今後も経費削減により一層努めていく必要がある。

②累積欠損金比率
欠損金は発生しておらず良好な状態にある。

③流動比率
前年度比55.63%ポイント増となっているが現金保有割合が高く、100%を大幅に上回り平均よりも高い水準にある。今後も継続して設備投資を行うため、堅実な経営を行っていく必要がある。

④企業債残高対給水収益比率
前年度比9.17%ポイント減となっている。平成30年度から経年等布設替え事業のため企業債を借入していることから、給水収益に対する比率が高くなっている。

⑤料金回収率
給水に係る費用がどの程度料金収入で賄えているかを表した指標であり、100%を超えていることから給水収益で賄えている。前年度比も7.87%ポイント増となっている。

⑥給水原価
委託料等の費用の増加、有収水量の減少等により一昨年度より高い数字となっているが、前年度比5.91%ポイント減となっている。県の類似団体平均と比較して高い水準であるので、今後も業務改善・経費削減に努める必要がある。

⑦施設利用率
施設の稼働状況は、類似団体平均と比較して高い水準で安定的に推移している。また点検作業時や非常時に稼働する予備設備も確保されており良好な状態にある。

⑧有収率
有収率は前年度比2.69%ポイント増となっており、高い水準で推移している。今後も漏水調査や配水管布設替えを行い、高い水準を目指す方を継続していく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
前年度比0.77%ポイント増となっているが、類似団体と比較して若干低い数値となっている。施設の長寿命化や更新時期について検討を行い、有効活用を図る必要がある。

②管路経年化率
配水管の布設替えを行っているが、多くの法定耐用年数を迎える管路が発生したため前年度比1.5%ポイント増と数値が上昇した。引き続き管路の耐震化及び更新を適切に進めていく必要がある。

③管路更新率
配水管の布設替え事業を実施していることから、平均と比べ高い数値になっている。今後も事業を継続して実施していく。

全体総括

令和5年度の事業は、利益を計上し予定した施設整備事業については順調に実施することができた。
課題としては、今後も料金収入の大幅な増加は見込めないため、老朽・経年化した施設、管路の更新事業における財源の確保がより一層求められる。今年度も引き続き企業債借入を行い財源の一部としており、今後も計画的な借入を予定しているが、同時に経費の節減を図り、効率的な事業運営を推進していくことが重要である。